

日南町の回答書 平成 15 年 11 月 13 日

問 1 . ヨーロッパのユニットケアでは 1 対 1 の介護が行われていると聞いています。利用者 2 人に対して介護職員 1 人の配置基準で職員が生きいきと働き、入所者に笑顔で接することができるかと考えていますか。

回答 現行の特別老後老人ホームの看護・介護職員の配置基準は、3 : 1 以上となっていますが、国内で既にユニットケアを実践的に行っている施設の平均が、概ね 2 : 1 と認識しています。数の論理ばかりでなく、ユニットケアの実効性を高めるためのさまざまな創意工夫も必要と思います。

将来的には実情を検証しながら、新法人が方針や諸条件を勘案して介護体制が決定されることになると考えています。

問 2 . 2 対 1 の介護職員配置基準によって実施される勤務体制、時間帯別の利用者に対する介護職員の人数について明らかにされたい。又それによって十分な介護が保障できると考えていますか。

回答 看護・介護職員は 2:1 の職員体制を計画しています。勤務態勢については、指定介護老人福祉施設の人員・設備・運営に関する基準を基本として配置するよう考えています。

問 3 . 特養の福祉法人への経営移行は、町の老人福祉に対する公的責任の放棄につながる恐れがあります。どのような理念の下に特養の民営化を決断されたのか、また福祉施設の民営化の利点をどのように認識されていますか。

回答 この度新たに設立する社会福祉法人は、町が関わりを持って設立するものであり、法人の基本財産も町が全額出資します。純然たる民間法人とは異なった法人であります。

平成 14 年度に石霞苑を鳥取県から町へ移管を受けましたが、今後において町の財政動向、政治的動向に左右されることなく、施設が安定継続して運営できる体制を確立するためには、社会福祉法人による経営が最前であるとの結論に至り、このことが町がこれまでに築いてきた医療・保健・福祉の連携の堅持と町民主体の福祉の充実に寄与するものと判断したところです。

問 4 . 民間の社会福祉施設における職員の賃金、退職者の状況、経営や運営の現状やサービスについてどのように認識されていますか。

回答 民間の社会福祉施設の経営・運営の状況は多様であり、具体的には把握していません。社会福祉法人の経営・運営は公益性を維持できる範囲内で、その法人の経営理念に基づいて行われるものと認識しています。

問5 .若い職員のエネルギーとベテラン職員の豊富な経験がかみ合っこそ充実した介護が可能となります。現在の介護保険制度の下での採算性の追求や民営化によって、経験豊富な職員が退職に追いやられ、そのことが介護力の低下につながる事例が多く生まれています。こうした事にならないように法人化される石霞苑に対する助成は考えていますか。

回答 常に介護の質の向上が求められるべきであり、そのためには豊富な経験と資質を有し、且つ常に自発的な研鑽を重ねる意欲ある職員の存在が必要であると思います。運営については公設民営であり、新法人が独立採算により経営することで計画しています。

問6 .いわゆるホテルコスト(居住費)の算定基礎となる建設費の金額、減価償却年数等について明らかにしてください。また、法人化を予定している特養で新しく追加負担となるホテルコストは一人あたりいくらになるか、試算の詳細をお答えください。

また、ホテルコスト(居住費)の徴収は避けられないものと考えていますか。徴収する場合、低所得者に対してどのような減免措置を考えていますか。

回答 ホテルコストの算定基準となる費用額については、今後の設備費用等の購入費用や内容に変動があることが予想されるため現時点での公表はできません。

低所得者に対する負担軽減は、介護保険制度で規定されている基準により対応する計画としています。

問7 .ホテルコストを徴収する場合に、そのホテルコストを含めた入所にかかる総費用は一ヶ月に一人あたりどれくらいになるのか、詳細をお答えください。

回答 ホテルコスト費用以外の自己負担額については、介護保険制度で規定されている額となります。

問8 .新設される福祉法人の経営や運営に関して、公共性・公平性・透明性の確保、情報公開、住民参加について具体的な方策を明らかにしてください。

回答 現在、社会福祉法人を設立するための準備会設立段階であり、新法人の設立後でないとい具体的に公表することができません。

問9 .日野町に建設される民間施設の定員は石霞苑の約2分の1ですが、建設費用は約4分の1です。スケールメリットから考えると約2倍以上の高額な建設費となる根拠を明らかにしてください。

回答 建設費用は、平屋建か二階建なのか、個室か多床室なのかなどの建築構

造の違いや、建築資材等の内容により違いが生じてきます。入所定員のみにより一律に建設費の多寡を比較して論ずることは適当でないと考えます。

問 10 . 本体工事 17 億 3 千万円以外に今後計画している備品購入や付帯工事、植栽の工事等の内容、金額を明らかにしてください。

回答 特養・通所介護施設を含めた当初の全体計画の総事業費は約 22 億円ですが、備品購入費等の予算額は来年度予算編成に向けて精査する内容であるため、現時点では最終総額がいくらになるか明らかにできません。

問 11 . 建物のランニングコストの試算を明らかにしてください。

回答 ランニングコストについては現在精査中であり、詳細な額については示すことができませんが、光熱水費等、現時点での大まかな概算額として 40,000 千円程度が必要ではないかと考えています。

問 12 . 入所者に提供する食事は新鮮で安全な食事が第一であり、それが精神的な健康状態に大きく影響すると考えられます。鳥取県が推奨する地産地消を取り入れ、日南町で揃えられる食材は 100% 使う考えがありますか。また一人一日あたりの食事代（朝、昼、夜）の試算と、法人が直接雇用する調理員の配置数を明らかにしてください。

回答 食材の地産地消については、検討すべき事項であると認識しています。食事費用としては、介護保険報酬で 1 人 1 日 1,920 円の範囲内で行う考え方がありますが、新法人との協議が必要であると考えています。

問 13 . 現在の石霞苑では部屋毎に冷暖房機器が設置されていますが、新特養においては居室部分の冷房を必要とする利用者は自ら設置することになると聞いています。多くの入所者は介護度が高く、高齢のために体温調節も難しいです。入所者の経済的負担など考慮すれば介護施設として冷房機器は標準で設置すべきと考えますがいかがですか。

回答 入所者の生活サイクルとして、昼間は自己の考えにより居室にいたいと願う方を除きできるだけリビングや交流ホール等の多目的な場所で暮らすことを想定しています。

夜間は風通しの良い地形であるため、外気を利用するなどに対応可能と考えています。また昼間は居室がリビングと隣接するため、居室ドアを少し開けるなどして冷気を取り入れるなどの工夫を考えています。